

HiGO ROCKa Summit 2024 成果報告について



令和7年(2025年)1月17日

フォーラム アワード
FORUM & AWARD



1 フォーラム & アワード(報告)

HiGO ROCKa Summit 2024 新しい発見、出逢いは 未来を動かす

- 開催日時: 令和6年(2024年)12月21日(土) 13:30～
- 開催場所: くまもと県民交流館パレア 10階 パレアホール
- 主 催: 熊本県、熊本県女性の社会参画加速化会議
- 参加者数: 163名
- 実施内容: フォーラム、アワード



※学生等の若年層を対象とした交流会・意見交換会「プレサミット」を、
同日(午前)開催

1ー① サミット開催に向けて



女性の社会参画加速化会議に設置されたワーキング会議、及びワーキング会議から選任された4人の実行委員により、サミット開催に向けた準備が進められました。

■実行委員会(2回開催)

○第1回:5月21日(火)

開催日程、実施内容の検討等について

○第2回:9月4日(水)

HiGO ROCKa AWARD受賞者の選定等について

■女性の社会参画加速化会議ワーキング会議(2回開催)

○第1回:7月3日(水)

女性活躍交流促進事業(HiGO ROCKa Summit 2024)の開催について

○第2回:10月7日(月)

HiGO ROCKa AWARD受賞候補者について

1-② 開会



■開会式

- ・オープニングパフォーマンス(菊池女子高等学校)
- ・開会挨拶(木村知事)



1ー③ アワード



男女共同参画社会の実現に向けて、様々な挑戦を続ける方々を表彰。

- ① 天草さくら助産院 院長(開業助産師) 池田眞智子 氏
- ② 熊本大学大学院先端科学研究部 教授 竹内裕希子 氏
- ③ お菓子の国あん・さんく パティシエール 長友美波 氏
- ④ バドミントン元日本代表選手(北京・ロンドンオリンピック出場) 前田美順 氏
- ⑤ 株式会社宮崎工業 代表取締役 宮崎和代 氏
- ⑥ モリチク／有限会社森田竹材店 取締役 森田弘子 氏



1-④-1 フォーラム【パネルディスカッション】



【テーマ】「消滅しません！ 地域でかがやく宝を探して」

各地域で様々な分野に挑戦し活躍している方をお招きし、それぞれの取組みや価値観の意見交換等を行うことで、若年女性を始め、誰もが住みたくくなるような地域(熊本)にするための今後の方向性やあり方を、男女共同参画の視点に基づき考えるパネルディスカッションを実施。

■登壇者6名 ※50音順

熊本県知事 木村敬 氏

株式会社スパークリングル 代表取締役 木庭理絵 氏

株式会社日添 取締役 土屋望生 氏

株式会社辰グループ 専務取締役／熊本商工会議所 副会頭 西村まりこ 氏

有限会社宮川洋蘭／株式会社イノP 代表取締役 宮川将人 氏

山都町議会議員／くまもと女性議員の会 事務局長 吉川美加 氏

■コーディネーター:タレント／ラジオパーソナリティー MEG 氏



1-④-2 フォーラム【パネルディスカッション】



【主な内容】

- Uターンを増やすには、まず住んでいる人が幸せであること。この町に住んでも楽しく生きていけるんだな、と思ってもらえることが重要。
課題と思っていることは、その町なりにアレンジすれば面白いアイデアになる。 【土屋氏】
- 外部の視点を取り入れていくことが、これから地域の強みを再認識するにも重要。
地元の方々が誇りをもって生き生きと活躍されている姿を、若い方に見せていくことが地元に戻ってきていただけるきっかけになると思う。 【木庭氏】
- 地元の強みを活かした取組みで、年々少しずつ、「有機農業がしたい」と帰ってくる人が増えた。一つ一つの小さな積み重ねが、これからの山都町を元気にしてくれると思っている。
多様性の第一歩は、「女性の社会進出」だと思っている。 【吉川氏】
- 熊本は広いフィールドがあり、色んな活躍をしている方がいる。縦のベクトルだけでなく、横のベクトルも広げたいという思いから、サミットを始めた。
男女共同参画は、地方創生にも柔らかく入り、問題の本質を掴むことができる。 【西村氏】
- 「観光という言葉は、“光を観に行く”と書く。その光は、そこに住んでいる人たちそのものだ」という好きな言葉がある。そこに住んでいる方々が生き生きと暮らしていれば、若い人たちを始め、色んな人たちが吸い寄せられてくる。 【宮川氏】
- 熊本は地元愛が強い分、今までの延長線で考えがち。「男はこういう“もんだ”」「女はこういう“もんだ”」というような「もんだ主義」を、一度止めてみることを実践していきたい。
地域や家庭の多様性の象徴というのが、男女の共同参画だと思っている。 【木村知事】

1－⑤ 参加者からの声



- 知らなかったことが分かったこと、女性ならではのトーク力（熊本弁、活気）で話に惹きつけられました。
- 男女共同参画への扉が日本、地域、世界を救うのではないかという言葉に共感しました。
- 女性の参画と地域や仕事は全部つながっており、熊本が元気であること。これからの熊本が楽しみだなと感じました。
- バラエティ豊かなパネリストで、聞く方も元気が出ます。知事の意見もゆっくり聞けて良かったです。
- パネリストがパワフルで、パワーを感じました。
- 大変良いディスカッションでしたが、もう少し男女共同参画を推進する上での問題・課題についての意見も聞きたかったです。
- 男女共同参画社会は男性と女性がともに働く社会なので、男性の参加がもっと多い方がいいと思いました。

※アンケート結果より

プレサミット

(若年層への意識啓発に係る取組み)



2 プレサミット

「今、輝いている人 今、挑戦し続けている人
“憧れびと”に話を聞こう！」

- 開催日時: 令和6年(2024年)12月21日(土) 10:30～
※「ヒゴロッカサミット フォーラム & アワード」と同日開催
- 開催場所: くまもと県民交流館パレア 9階 会議室1
- 参加者: 大学生 24名、高校生 2名
- 実施内容: パネルトーク、交流会 (意見交換会)



2-①-1 パネルトーク



様々な分野で活躍する5人の若手社会人をロールモデルとしてお招きし、多彩な経験や学生時代に思い描いていたこと、成功談、失敗談など、熊本に住む・働く魅力を語っていただき、大学生・高校生との交流会を実施。

●パネリスト(ロールモデル)5名 ※50音順

- ① 菊陽町 総務部 総合政策課 井手上美波 氏
- ② 株式会社大同リース 営業部 浦ちさと 氏
- ③ 株式会社Lintukoto ユースセンター事業部 部長 坂口史乃 氏
- ④ 九州電設株式会社 くらしのドクター事業部 高場大貴 氏
- ⑤ 一般社団法人フミダス コミュニティマネジメント事業部 次世代教育マネージャー 竹村寿美礼 氏

●ファシリテーター 水野直樹 氏



2-①-2 パネルトーク



パネリストから6つのテーマに沿って発言が行われた。

【テーマ1】今の仕事を選じたきっかけ、理由

【テーマ2】学生の頃の生活、取り組み

【テーマ3】学生の頃と今の社会人としてのギャップの有無、その乗り越え方

【テーマ4】仕事後や週末などの休みの過ごし方

【テーマ5】アンコンシャス・バイアスや固定的性別役割分担について

【テーマ6】これからのキャリアビジョン・ライフビジョン



2-② 交流会（意見交換会）



- 5つのグループに分かれ、パネリストが各テーブルに移動。10分毎にテーブルを移動し、参加者との意見交換を行った。
- 各テーブルにおいて、参加者からパネリストに今の仕事を選んだ理由や、休日の過ごし方などを質問。
また、パネリストから参加者に学生生活の内容について質問するなど、意見交換が行われた。



2—③ まとめ



■ パネリストから、「これから仕事を見つけるために必要なこと」について、参加者へエール・メッセージが送られた。

- 色んな選択肢があると思うが、たくさん調べて、多くを知って、自分の職業選択につなげていただければと思う。
- この会に参加した意欲的な自分を評価し、ポジティブな気持ちで、自分のやりたいことや将来の夢を見つけて、これから頑張ってほしい。
- 仕事が全てではない。どこで生きるか、何をしたいか、自分の幸せは何かを常に自分に問いかけ、楽しい生き方をしてほしい。
- 何事にも積極的にチャレンジし、失敗を恐れず、チャンスをものにしてほしい。
- あくまで仕事は、自分がやりたい姿を叶えるための手段だと思っている。そこをゴールにするのではなく、その先の自分がどうありたいのかを考え、楽しく頑張してほしい。

参加者からの声(アンケート)

- 集まったパネリストのバランスが良く、経営層、公務員、会社員と多様な働き方を見ることができました。
- 人のご縁がとても大事であること、そのきっかけを掴むのは自分自身であることを改めて理解しました。そして、この人と仕事がしたい、任せたいと思ってもらえるように自分を形作っていくことが大切だと思いました。
- 資格を持つことが大切なのではなく、資格を取るまでの過程が大切ということを知りました。
- 業種は違えどみなさんやりたいことをやり続け、発信し続けて、結果なりたい自分になっている。自分からどんどん発信し行動することが大切だと気づきました。
- 高場さんの行動力や取り組みは、今の自分にはない視点を得られました。